

記入日、申請者の氏名、所属事業場名、所属部課を記入してください

2023年6月○日

作業環境測定インストラクター氏名：測定 太郎

所属事業場名：日測協株式会社

所属部課：安全衛生部 測定課

業務内容の証明

(この証明書は、作業環境測定インストラクターの評点表(自己研鑽の実績)14について証明する際に使用するものです。)

上記の者は、依頼を受けた事業場に対し下記の改善指導(リスクアセスメント等)を行ったことを証明します。

記

(1)改善指導の実施年月日	(2)事業場名	(3)改善指導等の具体的内容
2022年5月29日	三田株式会社 田町工場	例1)有機溶剤 業種等 輸送用機械器具製造業 労働者数 230名 作業工程 自動車用金属部品の接着工程における局所排気装置の改善指導 使用化成品 第2種有機溶剤含有接着剤(ノルマルヘキサン15%含有) 具体的な指導の概要 既設の局所排気装置の制御風速が規定の制御風速に満たないため、必要排風量の強化(送風機の更新)とフードの型式の改良等により環境改善を指導した。(フードは外付け式フードから囲い式フードに変更した。) 改善後の効果等 改善前の外付け式フードではフードから最も離れた位置で吸引風速が約0.2m/s程度しかなく有機溶剤の漏れ出しが多くなっていたが、囲い式フード(開口面の最少風速0.4m/s)にすることで吸気効果が向上し漏れ出しを防止できた。なお、当該改善に伴い、接着後の製品の有機溶剤の乾燥が早くなったため、生産性も向上した。
(1) 改善指導の実施年月日※を記入してください。 ※複数日に渡って改善指導を行った場合は、対応初日の年月日を記入してください。 (2) 改善指導実施した事業場名を記入してください。 (3) 改善指導の内容を具体的に記入してください。		

		<p>例2) 粉じん プラスチック製品製造工程における炭素原料の投入用フードの改良</p> <p>改善の動機 既存の外付け式フードは吸気効果が十分ではあったが、その反面原料投入作業時における原料の損失が大きく、ダクト内堆積粉じんの清掃作業を頻繁実施しなければならない欠点があった。</p> <p>設備改善の概要 フードの形状を囲い式に改良し、原料の損失を最小限にした。当該設備の外付け式フードの制御風速は、投入口のフードからもっとも離れた位置で 1・2m/s の制御風速があり、粉じん則の規定を満足してはいたが、フードの開口面位置での吸引風速が 15m/s と大きいため、投入時フードに吸入される炭素原料の量が多かった。</p> <p>このように原料のロスが多かったため、外付け式から吸気効果の高い囲い式フードに改良し、テイクオフの風速を低く設定することで原料の損失を軽減させた。また投入後の空袋の処理も従来は周辺で無造作に片付け作業が実施されており二次発塵の原因となっていたが、囲い式フード内で空袋の処理作業を可能とするよう作業方法の改善も併せて指導した。(囲い式フード内で空袋を筒状に丸めることで空袋の内壁に付着している原料の二次発じんを防止するように指導した。)</p>
--	--	--

上記の内容については相違ないことを証明する。

2023年6月3日

所属事業場*1所在地 東京都港区〇 〇-〇-〇

所属事業場名称 日測協株式会社

証明者職名・氏名 ××部部长 作業 太郎



※ 所属先に改善指導の実施内容の証明を依頼してください。
その際は、証明日、所属事業場所在地、所属事業場名、証明者の職名、氏名を記入し、証明者の印を押印してください。